

■英国：自由民主党、原子力エネルギー支持に政策変更

2013年10月10日の報道によると、英国の自由民主党（Liberal Democratic Party）は、先月行われた党大会において、これまでの原子力エネルギー反対の姿勢から、公的補助がなく環境統制できる原子力発電を今後進めていくという政策に方針転換した。この決議により、野党労働党を含む英国の主要政党3党すべてが、原子力エネルギーを支持することになった。エド・デイビー エネルギー気候変動大臣は同党の党员に対し、気候変動により彼の考え方を変えたことを話し、大規模低炭素電源を拒否するのは"無謀"であろうと原子力エネルギー支持を訴えた。保守党・自由民主党の連立政権が2010年に結成されたとき、両党は、原子力発電所の新設計画を進めるものの自由民主党の当時の原子力反対との方針維持は認めることに合意しており、同党広報担当者は計画反対の談話が許され、同党議員は議会での投票で棄権が認められていた。